

# オープン・ブレスト<sup>※</sup>

## いま、困難を抱える子どもたち —現場からの目線で—

11月21日(土)オープン・ブレストを開催!

「温もりある社会」を目指して、子どもたちの抱える困難さについて考えます

社会から孤立し、日々の生活や将来について不安や心配を抱えて生きている子どもたちの存在が、地域の中で身近に感じられるようになっていきます。なかでも児童虐待やネグレクトなどによって、家庭に居場所がなかったり、不登校や中退など学校生活からドロップアウトしたり、外国での生活が長かったため言葉の壁や文化習慣の違いなどから生活困難に陥ってしまう等、今の子どもたちの抱える困難さは多様で複雑になっています。そして、この困難さは、子どもたちが若者へと成長するにつれ、社会・経済的に自立

していくうえで困難さにも結びついていくように思われます。このフォーラムは、学校や施設、地域の現場で困難を抱える子どもたちと向き合っているパネリストを招き、子どもたちの置かれている状況や困難を抱えるに至った経緯について、参加者の前でのブレインストーミングにより、いまの子どもたちが抱える困難さをあらためて、見つめ直してみようとする試みです。困難を抱える子どもたちや若者と向き合っている方々、関心を持つ皆さんの参加をお待ちしています。



### 日時

平成21年11月21日(土) 18時~20時30分 開場:17時30分

### 会場

かながわ労働プラザ(横浜市中区寿町1-4)多目的ホールB

### 対象者

青少年、保護者、青少年育成に関わる方など(対象者の限定なし)

### 参加費

無料

### 募集参加人数

200名

### 内容

●パネルディスカッション(18時~19時30分)

パネリスト

石井淳一(地域活動拠点 ことぶき青少年広場コーディネーター)

近藤昭一(南高等学校校長)

前田正子(横浜市国際交流協会理事長)

師 康晴(社会福祉法人 社の会理事長)

コーディネーター:平塚真樹(法政大学教授)

●会場との意見交換(19時30分~20時30分)

### お申込みはこちら

■シンポジウム参加希望と明記の上

■氏名(ふりがな込み) ■連絡先 ■住所(市町村まで) ■職業 ■年齢  
を記載してインターネットまたはファックスで、  
横浜市青少年育成課までお申し込みください。



インターネットでお申し込みの場合  
[kd-ikusei@city.yokohama.jp](mailto:kd-ikusei@city.yokohama.jp)



FAXでお申し込みの場合  
FAX 045-663-1926



上記所在位置は、あくまでも目安です。正確な場所につきましては  
かながわ労働プラザにお問い合わせください。



主催:横浜市こども青少年局

※オープン・ブレスト | 参加者が自由に考えやアイデアを出し合い、互いにアイデアを重ね、発想をひろげていく集団的思考法。この思考法を多くの前で行うことを指す造語。